

鍛えた塗りの腕競う

道塗装組合連が建築塗装大会

北海道塗装組合連合会主催の第28回全北海道技能競技大会(建築塗装)が12日、札幌市産業振興センターで開かれ、1級組で池田工業(本社・北斗)の荻原幸平さん、2級組でハシモト建装(同・札幌)の橋本大樹さんがそれぞれ1位に輝いた。隔年で開催している大会。今回は全道各地から1級組に9人、2級組に6人が出場し、日頃鍛えた腕を競った。

課題は1、2級ごとに難易度を設定した「つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り」と、共通の「合成樹脂エマルションペイントローラーパン塗り」の2種類。

出場者は、枠材や床の養生から、素地(しっくい)の施工段階線の設置、はけやローラーによる仕上げと、一連の工程を的確にこなしていった。

審査委員長を務めた、日本塗装工業会北海道支部の松田正幸技能委員長

は「鉛筆で描いた区画線をどう消すかがポイント。はけを一定の力加減、スピードで運ぶ技術が求められる」と厳しい審査の目を向けながらも、てきぱきとした姿に「練習の跡がうかがえる」と評価していた。

審査の結果、1級3人、2級2人の入賞者を選

出。1級の上位3人は、10月に北九州市で開催される全国建築塗装技能競技大会の出場権を獲得した。

入賞者は次の各氏。(カッコ内の地名は所属組合名)

◇1級▽1位 荻原幸平(池田工業、函館)▽2位 島田竜揮(マツヤ塗装工業、旭川)▽3位 石山泰史(スギソウ、帯広)

◇2級▽1位 橋本大樹(ハシモト建装、札幌)▽2位 赤田長太郎(大西洋行、旭川)

